



**STUDY**

日本を代表するグラフィックデザイナー・亀倉雄策の生前の業績をたたえ、グラフィックデザインの発展に寄与することを目的として、1999年に創設された亀倉雄策賞。第25回となる今回は、岡崎智弘の放送局の番組コンテンツ映像「デザインあ neo あの世界」、および三澤遥の幼稚園のサイン計画「玉造幼稚園」がそれぞれ亀倉雄策賞に選ばれました。  
この受賞を記念し、6月に岡崎、7月に三澤それぞれによる個展を開催いたします。

## 第25回 亀倉雄策賞 受賞記念

# 岡崎智弘 個展 STUDY

2023年6月6日(火) — 6月28日(水)

11:00 a.m. — 7:00 p.m. 日曜休館 入場無料

## クリエイションギャラリー G8

「つくっている最中にこそ面白いことがある」というデザインのひとつの側面について、  
気づき感じていながらも、私は見て見ぬ振りをして、取り組みの完成ばかりを目指してきたように思う。  
しかし、コロナウイルスによって引き起こされたパンデミックで、  
「途中とじっくりと向き合う時間」が、目の前にあらわれた。

スタディ  
柔らかな気持ちで「STUDY」という実験をはじめてみた。  
最初はただ「よく解らないけれど面白い気がする」からスタートした。  
ここ最近では、毎朝始業前の時間を使い、  
一人で集中してつくる時間を楽しんでいる。  
別に毎日やらなくてもいいことなのに、なぜだか毎日やってしまう。  
完成を目指さず、ただ純粹につくることと向き合うことを続ける。

自分の手でつくって、自分の目で見る。  
そして人間の内に生まれる感覚をよく観察する。  
それを繰り返す。  
そんなふうに毎日続けていると、完成しないことが嬉しくなってくる。  
この空間に、そのような私の個人的な興味だけでデザインと向き合う  
スタディの時間そのものを展示してみる。  
これらはただのスタディであり、それ以上でもそれ以下でもない。  
スタディに取り組む時間を、  
散歩の時間みたいだなと感じながら、今日もつくる。

第25回 亀倉雄策賞 受賞作品  
「デザインあ neo あの世界」  
NHK



### 岡崎智弘

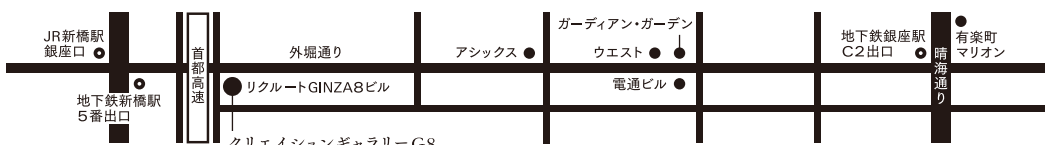
1981年神奈川県生まれ。2003年東京造形大学デザイン学科視覚伝達専攻を卒業。広告代理店、デザイン事務所勤務を経て、2011年9月よりデザインスタジオSWIMMINGを設立し活動。グラフィックデザインの姿勢を基軸に、印刷物 / 映像 / 展覧会など視覚伝達を中心とした領域を柔軟に繋ぎながら、仕事の規模を問わず、文化と経済の両輪でデザインの活動に取り組んでいる。デザインの仕事は、自分が知らない世界や事象と向き合う機会となることや、人や社会と繋がる行為となること、また世界の捉え方や構造を発見し関与することができるものであり、その可能性に大きな魅力を感じている。

<https://www.swimmingdesign.com/>

主催 クリエイションギャラリー G8  
共催 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 (JAGDA)  
亀倉雄策賞事務局

協力  
五十嵐瑠衣、岡篤郎、穴水康祐、千田みゆき (mahoutsuk.ai)、  
角尾舞、西本瑠、nomena、山田写真製版所、HIGURE 17-15 cas

クリエイティブサロン  
日時：2023年6月14日(水) 7:10 p.m. — 8:40 p.m.  
出演：岡崎智弘、辻川幸一郎、中村勇吾、渡邊敬之 (北千住デザイン)  
入場無料、要予約。ご予約はギャラリーWEBサイトまで



〒104-8001 東京都中央区銀座 8-4-17 リクルートGINZA8ビル1F TEL 03-6835-2260 <http://rcc.recruit.co.jp/>

